

三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会 座長まとめ

平成21年8月27日(木)

流れ

- H20：流れ連続観測ができた

↓

- 過去との観測値の比較むずかしい
- 3点の観測から分布(淀み域) むずかしい

⇒ モデルの活用のための準備ができた。

- ・ 報告書 → (併せて水質も測定
測定の方法 分析・表現のしかた)

⇒ 顕著な変化(悪影響)の有無の評価できない

→ 数値モデルを使った評価の必要性

地形

- 深淺調査

- ・ 過去の議論の見直し・評価をすべき

→ トレンドの把握

(総合解析の議論の確認)

- ①砂嘴、砂堆の発達(日の出地区)
- ②法肩のくずれ(前置斜面)
- ③その他

- ・ 全体の分析について

基礎的な処理のプロセス

途中段階の手続き

も明示

例えば、土量計算の手順

収支: $\text{〇m}^3/\text{年}$

領域

- ・ ラインでの深淺測量 → (いくつかの領域区分で収支
泥/砂, 湾奥/湾口, 東/西)

- 航空写真 河口でのカキ礁 H21調査実施中

- 地盤の確認

モデル

- ・ 平成11年度県単港湾調査委託流動・波浪解析

- ・ 平成19年度漁場特性マップ作成委託

を県で確認して、20年度三番瀬海域モニタリングデータを用いて現況再現を試行
入力する境界条件についても県で整理